

においの可視化技術による評価方法

生活技術開発セクター 佐々木 直里

においを複合体として評価し、においの可視化方法および官能評価との相関性を「におい識別装置」を使って検証しました。官能評価に比べて簡易的に測定ができ、嗅覚に類似した測定結果が得られました。

内容・特徴

においの強さを評価

■酢酸エチルによる装置と官能評価の相関性

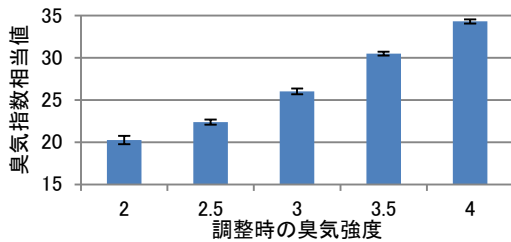


図1. におい識別装置を使った測定結果

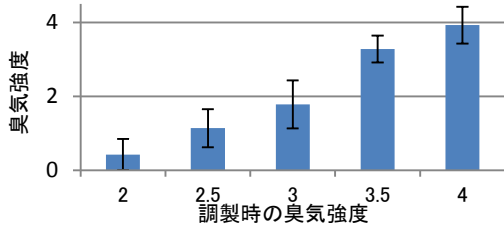


図2. 官能検査による測定結果

におい強度との相関性を確認

においの質を評価

■市販の野菜ジュース(A~F)を使った評価方法

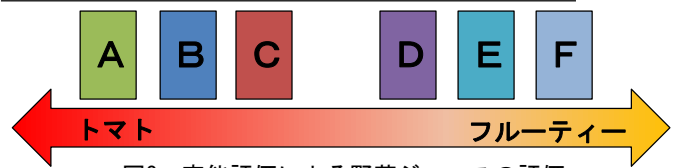


図3. 官能評価による野菜ジュースの評価

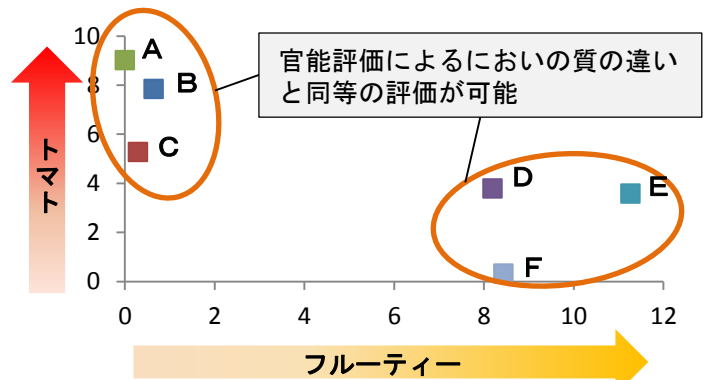


図4. におい識別装置による偏位臭マップ

従来技術に比べての優位性

- ①においを複合体で評価できることから、人間の嗅覚に類似した測定結果が得られる
- ②官能評価に比べて測定手順が簡易的

予想される効果・応用分野

- ①市販品と自社製品との差別化
- ②ユーザーの嗜好、開発を進める製品の方向性を把握
- ③製品の付加価値を可視化

提供できる支援方法

- 共同研究
- オーダーメイド開発支援
- 技術相談・依頼試験

文献・資料

- 文献・資料

[1] 佐々木:平成26年度研究成果発表会要旨集, p. 72 (2014)

[2] 佐々木:TIRIクロスミーティング2016要旨集, p. 96 (2016)